

特別な配慮を必要とする生徒の出願に係る相談窓口について

学力検査及び高校入学後の配慮や支援の内容について詳しくお知りになりたい場合、下記の相談窓口で本人や保護者の方が直接相談できます。ただし、正式な手続きは中学校を通して行うことになりますので、担任までご連絡ください。なお、特別な配慮を申請されても可否の判定には影響しません。

1 特別な配慮の相談窓口

- ・出願先の高等学校
 - ・札幌市教育委員会学校教育部教育課程担当課 【電話】011-211-3891
 - ・札幌市教育委員会学校教育部学びの支援担当課 【電話】011-211-3821
- <https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/senbatu/index.html>

※ 裏面を参考にしてください。

北海道立高等学校入学者選抜でのウェブ申請に関するリーフレットの配付

北海道立高等学校の令和7年度入学者選抜出願においても、ウェブで申請することになりました。北海道教育委員会が作成した、変更点や今後の日程が記載されたリーフレットを配付しました。**11月18日(月)**から「ウェブ申請のマニュアル」が北海道教育委員会のホームページで公開される予定になっていますので、ご家庭でも確認してください。今後の具体的な手続きや中学校への提出書類の締め切りなどは、11月7日(木)の「第2回進路説明会」や「進路だより」でお知らせします。

札幌市立高等学校入学者選抜でのウェブ出願のシミュレーション実施について

札幌市立高等学校へ出願を予定している場合、スムーズな出願手続きができるよう、シミュレーションが実施されることになり、リーフレットが配付されました。**11月11日(月)～11月25日(月)**にリーフレットを参照し、ご家庭のPC、スマートフォンで試していただければと思います。

11月12日(火)は進路用写真及びアルバム写真撮影です！

12日(火)は、進路用写真の撮影日です。進路写真を撮影した後、すぐにアルバム写真を撮影します。進路用写真は、入学試験や就職試験を受けに来た人が、本人かどうかを確認するための証明写真として使われます。そのため、顔全体がはっきりしていないと使用することができません。また、試験当日の髪型や服装などが、写真と極端に違っていてもいけません。進路用写真撮影は、受験や就職をするための手続きの第一歩です。この写真が第一印象になります。自分の意気込みが伝わるように、細心の注意を払って撮影に臨んでほしいです。ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。なお、当日撮影できなかった場合、**11月21日(木)**に撮影する予定です。

【具体的には…】 証明写真は、どのような人物か確かめることが目的です！
部分的にも顔を絶対に隠してはいけません。

- ・頭髪がきちんと整っていること(清潔感が大切です)。
- ・髪が長い場合は、しばること(お団子ヘアは上部が欠けるので禁止です)。
- ・耳や顔の輪郭が隠れないこと(髪で顔が隠れる場合は、耳にかけること)。
- ・まゆ毛が見えること(まゆ毛が見えないと、証明写真になりません)。
- ・ネクタイ、名札(色ピン×)、ボタンがきちんと付いていること。
- ・胸ポケットには何も入れない。

※試験時に眼鏡をかける人は、眼鏡をかけて写すこと。

※撮影直前に頭髪を整える時間はありません。登校前に自宅で済ませてくること。



※ 裏面もあります。

公立高等学校を受検する生徒・保護者の皆さんへ

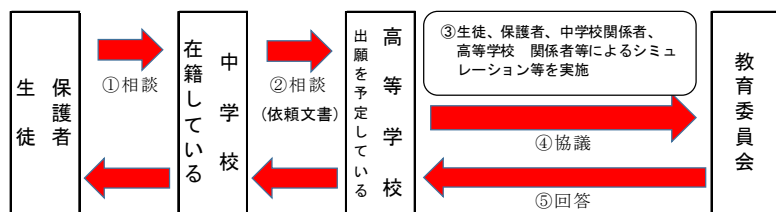
～特別な配慮を必要とする生徒の出願について～

入学者選抜における学力検査や入学後の学校生活等について、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合の対応や流れなどは、次のようになっています。

◎ 出願前に行うこと(流れ)

- ① 生徒・保護者から中学校へ相談
 - ・在籍している中学校の先生に学力検査や面接、入学後の学校生活において必要とする特別な配慮について相談します。
- ② 中学校から高等学校へ相談
 - ・中学校は、生徒・保護者から相談のあった特別な配慮の内容や中学校で配慮している事項をまとめ、生徒が出願しようとしている高等学校に相談し、関係文書を送付します。
- ③ シミュレーション等の実施
 - ・特別な配慮の内容や実施方法が適切であり、実施に当たって支障等が生じないよう、高等学校と中学校が詳細を確認します。
 - ・また、生徒・保護者、中学校及び高等学校の関係者等が一堂に会し、要望の内容について確認したり、シミュレーションを実施したりします。
- ④ 高等学校と教育委員会との協議
 - ・高等学校と教育委員会が特別な配慮について協議し、内容や実施方法等を確定します。
- ⑤ 高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ回答
 - ・高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ特別な配慮の内容について伝えます。

※ 出願の際、入学願書の「入学者選抜における特別な配慮の希望の有無」の欄の「有」を選択してください。



◎ 学力検査等においてこれまで実施した特別な配慮の例

受検者の状況等	特別な配慮の内容
聴覚に障がいのある場合	・監督者の指示や英語の聞き取りテストが聞き取りやすいような座席の配置 ・補聴器の使用 など
視覚に障がいのある場合	・拡大鏡の使用 ・問題用紙の拡大 など
肢体不自由の場合	・車いすの使用 など

糖尿病の場合	・室外での補食 ・保健室でのインスリンの注射 など
入院している場合	・入院先の病院での受検 など
日本語指導が必要な場合	・問題用紙等へのルビ振り など
その他	・通常の検査室で受検することが困難な受検者に対する別室での受検 ・面接における話し方の配慮(できるだけゆっくり話す等) ・筆談による応対 ・当該生徒及び保護者の要望により特別な配慮が必要と考えられるもの など

◎ 特別な配慮に関するQ&A

- Q 1 特別な配慮を要望すると可否に影響を与えますか。
A 1 入学者の選抜は、実施要項で示された資料(個人調査書、学力検査の成績、面接の結果等)を総合的に評価して行いますので、特別な配慮が可否に影響を与えることはありません。
- Q 2 特別な配慮について、いつまでに中学校へ相談すればよいですか。
A 2 出願しようとする高等学校が未定の場合であっても、公立高等学校へ出願しようとする場合は、できる限り早く相談してください。可能な限り出願の受付前に協議を終えることができるようお願いします。
- Q 3 出願後に怪我等により特別な配慮が必要となった場合、特別な配慮をしてもらえますか。
A 3 怪我等により通常の受検が困難になった場合、速やかに中学校に相談してください。在籍中学校長が出願先の高等学校長に事情を説明し、当該高等学校長は、教育委員会と特別な配慮について協議します。
- Q 4 学力検査当日に急な体調不良等により特別な配慮が必要となった場合、別室受検等の特別な配慮はしてもらえますか。
A 4 学力検査当日の急な体調不良等により通常の受検が困難になった場合、速やかに中学校又は出願先の高等学校に相談してください。状況に応じて特別検査室等で受検することは可能です。また、インフルエンザ等の感染症の罹患者のほか、月経随伴症状等、本人に帰責されない身体・健康上のやむを得ない理由等により本検査を受検できない場合は追検査の対象となりますので、中学校に相談してください。なお、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象となりません。

◎ 相談窓口

- 次のいずれかに相談してください。
- ・出願先の高等学校
 - ・札幌市教育委員会学校教育課程担当課
電話(011)211-3891
 - ・札幌市教育委員会学校教育部学びの支援担当課
電話(011)211-3821
- <https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/senbatu/index.html>